



地域日本語支援ニュース こだま 第 241 号

2013.9.26



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

===== 目次 =====

1 ■AJALT からのお知らせ■

～地域で生活する外国人のための教材 その 1～

公益社団法人国際日本語普及協会 新野佳子

■進学進路ガイダンス情報■

高校進学説明会情報(10 月・11 月)

\*今回は新しい情報はありませんので、前号をご覧ください。

2 ■日本語能力試験情報■

=====

1 ■AJALT からのお知らせ■

～地域で生活する外国人のための教材紹介 その 1～

文化庁 HP にて公開

『にほんご えじてん』『生活のための日本語』学習教材-絵辞典編

『はじめまして にほん』『生活のための日本語』学習教材-ユニット学習編

公益社団法人国際日本語普及協会

新野 佳子

-----

2010 年度よりタイの難民キャンプから第三国定住難民の受け入れが始まり、RHQ 支援センターで定住支援プログラムを修了した難民の方たちは各地へ定住しています。定住に向けた日本語教育のカリキュラムは、対話を循環させながら、体験と結び付け具体的にイメージ豊かに言葉を学んでいけるよう様々な工夫がなされています。この

たび、難民の日本語教育に長年携わってきた講師たちが、こうした日々の授業のために作成した教材に、地域での継続学習の内容も加えた「生活のための日本語」の教材を作成しました。今回は姉妹編として作成され文化庁 HP 上で公開されている二つの教材、『にほんご えじてん』と『はじめまして にほん』をご紹介します。

-----

#### ◆『にほんご えじてん』◆

『にほんご えじてん』は絵を通して日本語を楽しく学べるようにと開発された教材です。日常生活に必要な語彙約 2200 語を絵で表現し、「家」「学校」「災害」などトピック毎にまとめました。語彙力アップのための辞書としてはもちろん、文字学習やコミュニケーションツールとしても様々な使い方ができます。話したいトピックのページを広げて絵を見ながら、初めは単語レベルのやりとりでも徐々に話題を広げていくことで、コミュニケーション力が伸びていきます。絵と一っしょに文字を覚えていくこともできますし、文字を抜いたワークシートや絵カードを作成したりなどすれば、さらに学習のバリエーションが広がります。

#### ◆『はじめまして にほん』◆

『はじめまして にほん』は、日本社会へ自信をもって第一歩を踏み出していくために必要な 17 のトピック（呼称「ユニット」）で構成された総合学習用教材です。実践的な日本語力獲得をめざした「交通」「買い物」「職場」、コミュニケーション力に焦点をあてた「身近な人と話す」「地域のコミュニケーション」、発表を通し自己表現力をつけていく「街へでかけよう」「自国紹介」など、様々な角度から日本語力アップにつなげます。各ユニットの最初のページは、そのユニットで学習する内容がイラストや写真などで視覚的に表わされ、そのユニットのトピックに関する対話をいざなうためのページです。この最初のページから学習者の様々な発話が生まれることで、学習者の興味、必要度、関心なども見えてきますし、学習者同士がより深く知り合うきっかけにもなります。次のページからは、そのユニットに関連した各種のワークシートに進み、さらに学習を深めていきます。

『にほんご えじてん』も『はじめまして にほん』も、用途に応じ部分的にダウンロードして使用することができます。それぞれの学習者が、『にほんご え

じてん』の空白部分に自分が必要とする語彙を追加していくことで、『はじめまして にほん』にはバインダーを使用し、必要な資料や練習シートを足していくことで、世界に一つだけの“マイ ディクショナリー”“マイ ユニット”教材を作るようになっています。

文化庁の HP から→「国語施策・日本語教育」→「日本語教育」→「難民に対する日本語教育」と順に辿って URL に入れますのでぜひご覧ください。

この教材は平成 24 年度文化庁委託費により、公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部が平成 25 年 3 月に発行しました。企画・編集・制作は公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）が行いました。

---